

ごあいさつ

9月25日までの期間で開催されている『2005年日本国際博覧会』（略称：『愛知万博』、愛称：『愛・地球博』）のテーマは「自然の叡智」です。2月に京都議定書が発効し、脱温暖化社会に向けた国際的な取り組みが始動した年にふさわしい、まさに時宜にかなったテーマ設定だと思えます。

ところが、昨夏から今春にかけて、福井豪雨、新潟県中越地震、福岡西方沖地震、国外に目をやればスマトラ沖大地震およびインド洋津波の発生と、私たちは残酷なまでの「自然の脅威」を立て続けに見せつけられることになりました。また、伝え聞くところによると、改革開放政策によって「世界の工場」と呼ばれるまでの経済成長を成し遂げた中国では、今やマイカー保有台数が1千万台を突破し、大気汚染の深刻化が懸念されているとか。

こうした報道に接するにつけ、持続的発展が可能な社会の実現に向けて、地球温暖化防止をはじめとする環境保全活動の世界規模での取り組みの必要性を痛感するとともに、「微力ながらも当社および当社グループが貢献できることは何か?」と自問自答を繰り返さずにはいられませんでした。本年4月15日に発表したグループの次期経営計画『Jump21』の中で、「スピード経営」「コンプライアンス経営」「ブランド経営」と並ぶ経営品格向上のキーワードとして「環境経営」を掲げたゆえんです。

今後も当社は、社会の一構成員として、引き続き環境への取り組みを推進する一方、グループ会社へも取り組みの輪を広げることで「環境経営」を実現してまいりたい所存であります。つきましては、本書をご高覧の後、当社の環境への取り組みをより充実したものにするため、率直なご意見をお聴かせいただければ幸甚の至りでございます。

末筆ながら、本報告書の発行に当たり、当社の環境への取り組みに多大なる関心を寄せてくださった皆様に対し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

代表取締役社長

佐藤 茂雄

